

袋井の夏の幕開け「遠州山梨祇園祭り」

7月11～13日、上山梨地区で山名神社例大祭「遠州山梨祇園祭り」が行われました。
天候にも恵まれ、初日から青く澄んだ夏空が広がり、参加者のかけ声と笑顔で大いににぎわいました。

「てんぐ姿の神^{さるたひこ}『猿田彦』が持つ南天棒で頭を叩かれると1年健康でいられる」といわれており、無病息災を願う多くの人々で長蛇の列ができました。



「猿田彦」に向かって頭を差し出す人々



祭典を盛り上げた願富番長(中央)と、各地区の富番長の皆さん



大富番の「金屋敷」の屋台を先頭に、続々と屋台が進む

オリンピック2人が、部活動を頑張る中学生を特別指導!

7月25日、さわやかアリーナで、北京2022冬季オリンピックにおいてフリースタイル男子モーグルに出場した本市出身の杉本幸祐選手と、杉本選手のコーチでバンクーバー2010冬季オリンピックなどに



遠藤さんは、神経系を養うトレーニングを実施。
円状に貼られたテープの上を、
はみださないよう慎重に進みます

同種目で出場した遠藤尚さんによる、部活動の特別指導が行われました。

参加したのは、陸上競技やソフトボールに励む市内の中学生約50人。2人のオリンピックから、どんなスポーツでも役に立つ効果的なウォーミングアップのコツや、体を動かす際に意識することを学びました。



杉本選手は「ミラードリル」を伝授。
相手の動きに合わせて素早く反応し、
機敏性を養います

袋井の夏の風物詩「ふくろい遠州の花火2025」

7月26日、原野谷川親水公園で「ふくろい遠州の花火2025」が開催されました。

大会の幕開けを告げる「オープニングスターマイン」や、全長200メートルを超える仕掛け花火で富士山を表現した「空中ナイアガラ 大富士瀑布^{ばくふ れいほう}『霊峰』」など、序盤から迫力満点の展開。今年は、市内中学生が演出を手掛けた、本市ゆかりの



多くの方でにぎわう会場

世界的オペラ歌手・三浦環^{たまき}をイメージした花火も披露されました。最後は「日本一ジャンボワイドスターマイン」が袋井の夏の夜を華やかに彩り、市内外から訪れた多くの人々を魅了しました。

美しい大輪の花火が夜空を彩りました▶
(提供:ふくろい遠州の花火実行委員会)





Instagram



X(旧Twitter)

新しい友だちできたかな？ クラブの垣根を越えて楽しく遊ぼう！

7月29日、月見の里学遊館で、「一般社団法人 大きな木ふくろい」が運営する6つの放課後児童クラブの児童たち約300人が一堂に会して交流するイベントが開催されました。

他の児童クラブとの交流を通して協調性を養うために、同法人が企画したもので、児童たちはクラブ混合の6つのグループに分かれ、キッズダンスやパラスポーツの「ボッチャ」を体験。子どもたちにとって、新しい友だちをつくったり仲間で協力することの大切さを学ぶ



狙い通りにボールを投げられるかな？



人気曲にあわせてダンス！
自然と笑顔になるね！

貴重な機会となりました。

また、1992年バルセロナオリンピックの柔道競技で銀メダルを獲得した、市スポーツ協会溝口紀子会長による講演も行われました。



夢を持つことの大切さについて、
わかりやすく語る溝口会長

広島平和記念式典に中学生を派遣

8月5～6日、市内の中学生代表10人が、「広島平和記念式典中学生派遣団」として広島県広島市を訪れました。

5日には現地の中学・高校生で構成された「ユース・ピース・ボランティア」の生徒たちや原爆被害者の講話を聞き、「平和とは何か」について考えました。6日には広島平和記念式典に参加したほか、広島平和記念資料館の見学や「原爆の子の像」へ市民が折った折り鶴の奉納などを行いました。原爆の悲惨さと平和の尊さを考える貴重な機会となりました。



被爆した当時の姿を伝える
原爆ドームを訪問しました



全国の学生とグループディスカッション。
平和について意見を出しあいました



市民が折った折り鶴を奉納しました

街の写真館 続き



ずっと仲良しでいようね♪

けんかをしてても、アイスを食べたらすぐに仲直り♪

ゆず 優杏ちゃん(左)、ふうか 風花ちゃん(右)



仲良し兄妹

じーじ、ばーばのお家の窓で仲良く風を感じています。かわいい後ろ姿でしょ？

けいと 慶叶くん(左)、ふうか 楓禾ちゃん(右)



在りし日の袋井市自主運行バス

袋井駅を走るメローバス。現在はワンボックス車になり、経路変更や本数増加でより便利になりました。

渡辺 翔さん